

年度 2007 学期 前・後期	曜日・校時 前火 4/後火 4	必修選択 必修	単位数 1
授業科目/(英語名)	スポーツ演習(サッカー) Seminar of Sports and Exercise		
対象年次 1年次	講義形態 演習	教室	
対象学生(クラス等) 1年の各指定クラス	科目分類 健康・スポーツ科学科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員:畑 孝幸 / 研究室:教育学部本館 1階 119 / オフィスアワー:火曜日 13:00 ~ 14:00			
担当教員(オムニバス科目等)			
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標			
<p>授業のねらい: 身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。このクラスではサッカーを通して身体運動に関する自立的な能力を開発することを目的とする。</p> <p>授業方法: このクラスでは、サッカーの知識・理論を学習し、技術・戦術を実践的に習得するが、そのための思考力と方法的能力を養成する。授業は男女共習のグループ学習の形態で行い、グループごとに学習内容を「計画」「実践」する。その後「ふりかえり」を行い、グループ内での課題の発見とその解決について検討する。</p> <p>授業到達目標: 自己の課題を発見し練習計画表を作成することができる。サッカーのルールや戦術を理解し、チームや個々の技能の特性を活かして上手にゲームができる戦術を考えることができる。チームメイトと討論し、自らの課題を発見し、計画表を作成し、ゲームを実践することができる。</p>			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)			
<p>授業内容(概要)</p> <p>毎時間グループごとに学習内容を計画しながら実践する。計画した内容をゲーム等で実践することによって、サッカーの基礎的技術を習得し、ルールや戦術の理解を深める。</p> <p>第1回 オリエンテーション、軽度の運動</p> <p>第2回 グループニング、授業展開方法の説明</p> <p>第3~14回 グループ学習(準備運動 練習 ゲーム ふりかえり)</p> <p>第15回 定期試験</p> <p>受講者にはグループや自己に対する理性的な評価・批判と主体的な態度・意欲が求められる。授業ごとに毎回作成される計画表は、授業後に提出し、評価を受けたあと、次回の立案者に渡される。</p>			
キーワード			
教科書・教材・参考書	教科書は使用しない。必要に応じて資料を配付する。		
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加態度 10%、計画表 25%、個人技能 10%、集団技能(練習やゲームの内容をチーム毎に評価する) 25%、筆記試験 30% を総合的に評価し、60%以上の評点を合格とする。		
受講要件(履修条件)	基本的に全回出席しなければ単位は成立しない。		
本科目の位置づけ / 学習・教育目標			
備考(準備学習等)			